

呉リノベーションまちづくり構想及び今後のリノベーションまちづくりの展開について

令和 4 年度から令和 5 年度にかけて開催した呉リノベーションまちづくり戦略会議（以下「戦略会議」といいます。）の活動報告である「呉リノベーションまちづくり構想」（以下「リノベ構想」といいます。）の概要及び今後のリノベーションまちづくりの展開について報告します。

1 リノベ構想の概要

リノベ構想は、呉市が令和元年度から令和 5 年度までの間に中通商店街及び本通商店街を中心とした中央地区商店街エリアで取り組んできた、リノベーションまちづくり事業を通じ、今後、リノベーションまちづくりがどういった未来を目指していくのか、民間の活動報告及び活動宣言として、構想（ビジョン）と提言（アクションプラン）を明文化したもので、呉市でチャレンジする人・それをサポートする人を始めとしたリノベーションまちづくりに取り組む人材の裾野の拡大、中央地区商店街エリアでのリノベーションまちづくりの更なる推進及び中央地区商店街エリア以外の地域でのリノベーションまちづくりの展開を目指すための更なる議論の出発点として取りまとめたものです。

(1) 構成

目次	ページ	主な内容
CHAPTER 1 呉のリノベーションまちづくりのこれまで	P 1 ～ P 6	<u>呉のリノベーションまちづくりのこれまでの取組</u> ・リノベ構想の位置付け、これまでの呉の取組及び呉のリノベーションまちづくりの事例を整理
CHAPTER 2 呉リノベーション戦略会議と構想	P 7 ～ P 1 5	<u>戦略会議での議論の経緯及び議論をまとめた「構想」</u> ・呉の魅力と課題を再認識した上で今後のまちづくりの方向性を議論し、構想をとりまとめ
CHAPTER 3 構想に基づく提言	P 1 6 ～ P 2 0	<u>「構想」を踏まえた「提言」（今後の議論のたたき台）</u> ・構想を踏まえた提言のとりまとめ及び市役所・関係団体からの提言に対する意見
おわりに	P 2 1 ～ P 2 7	リノベ構想策定委員からのコメント及び巻末資料

(2) 策定委員会（P 8）

リノベ構想の策定に当たり、策定委員会を設置しました。策定委員は20名で、構成は次のとおりです。

	委員の属性
民間	リノベーションスクール関係者（講師・受講生），都市再生推進法人代表等，起業家，不動産管理会社代表，不動産オーナー，建築家，空き家活用アドバイザー，子育て世代，商店街振興組合理事長
市役所	産業部長，企画部長，文化スポーツ部長，こども部長，都市部長，土木部長
支援機関等	UR都市機構職員，金融機関職員，高等教育機関教員

(3) 策定の経過（令和4年度～令和5年度）（P 10～P 13，P 22～P 23）

リノベ構想の策定に向けた公開による戦略会議のほか、委員のみで行った「委員会」、委員の中で更にグループ分けをした「分科会」を開催してきました。

回	戦略会議の開催日	会議の目的	テーマ・議事概要	委員会・分科会の動き
1	令和5年1月13日	呉の魅力を再発見する インプット	「呉のサービス産業」	
2	令和5年2月25日		「力強い女性たち」	
3	令和5年4月20日		「ローカルツーリズム」	
4	令和5年8月24日	リノベ構想策定に向けた ディスカッション	リノベ構想案の中間報告	委員会：第3回までの振り返り 第4回を受けリノベ構想策 定に向けた議論 分科会：具体的な提言について議論
5	令和6年2月 3日	リノベ構想策定に向けた ブラッシュアップ	リノベ構想最終案の報告	分科会：提言内容のブラッシュアッ プ

(4) 会議の結果（P 14～P 21）

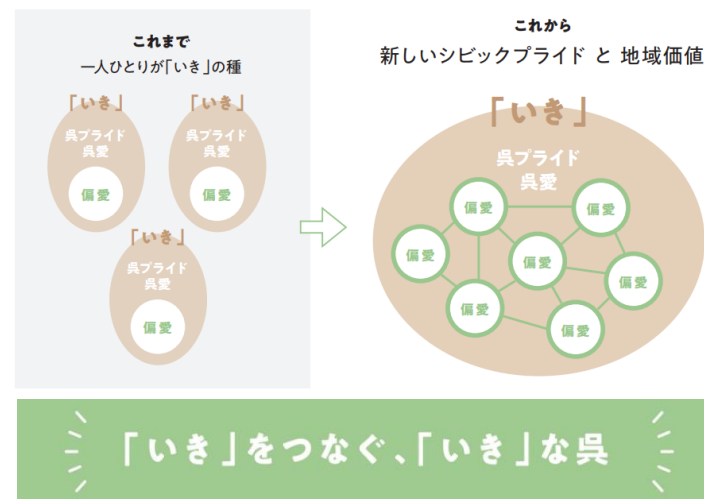
会議を通して見えてきた呉の魅力と課題を再認識した上で、今後のまちづくりの方向性を議論した結果、呉のまちが目指す構想（ビジョン）と、構想を実現するための、民間の策定委員による今後の活動宣言である提言（アクションプラン）として次のとおり取りまとめました。

ア 構想（ビジョン）（P 14）

鎮守府開庁以来、呉の人々が持ち合わせてきた「呉プライド」と呉愛※1に内包されてきた個性豊かな「偏愛」※2を認め合うことが「いき」であり、構想を「「いき」をつなぐ、「いき」な呉」とまとめています。

※1 呉市民のコンセンサス 歴史・誇り

※2 各々の世界観によって育まれた個性・価値観



イ 提言（アクションプラン）（P 16～P 18）

(ア) アクションチーム（呉をさらに魅力的にする行動を考えるチーム）

「市民がまちを使いこなせるまちをつくる」ために、まずは自分たちが経験した、まちの使いこなし方を示し、その方法を一般化することで、更なるアクションを起こし、使いこなし事例を増やしていくことを宣言するとともに、呉市としても、「公共空間の使い方をより分かりやすく市民に見せる工夫」をすることについて提言いただきました。

(イ) システムチーム（呉をより魅力的にする行動を繋^{つな}げる仕組みを考えるチーム）

「1歩ではなく、“0. 1歩目支援”を行い、誰もがチャレンジできるまちへ。好循環のサイクルを生み出す」ために、まちづくりのプロセスや、まちの課題、まちの支援者を可視化する仕組みづくりを行っていくことについて宣言がありました。

ウ 市役所・関係団体からの意見（P 19～P 20）

提言を受けて委員から、「市民がまちとの関わりを増やし、チャレンジしたくなる仕組み」や、「プレーヤーや企業を発掘し、連携を促進する仕組み」をつくること、また、「公共資産を民間で活用しやすくする情報提供」することといった意見やアイデアが出ました。

2 今後のリノベーションまちづくりの展開

「民間主導の公民連携」により策定したリノベ構想を基に、これまでの5年間の取組を通して育った人材が主体となった呉市独自のリノベーションまちづくり事業を次のとおり展開していきます。

(1) リノベーションまちづくりに取り組む人材の裾野の拡大

ア リノベーションまちづくりの取組の周知

今年度、リノベーションまちづくりの取組を周知するとともに、まちづくりのプロセスの可視化・共有をし、チャレンジする人を増やすための市民向けガイドブックの発行・配布を行います。

イ 企業版リノベーションスクールの開催

地元企業を対象に、今後、遊休不動産・公共空間を活用した事業参入や、既存事業の再構築による新たな産業創出の機運醸成を目指すスクールを実施していきたいと考えています。

今年度は、事業の可能性調査のため、地元企業をリストアップし、ヒアリング等を実施しています。

ウ 「くれオンパク」※の開催

今年度、まちの資源を発掘し、まちに新たなチャレンジと、まちのプレーヤーとファンを発掘することを目的に、「くれオンパク」を実施します。

※ 地元住民や事業者が企画・提案する体験交流型プログラムの短期間集中開催イベント。もともとは、別府市で温泉泊覧会として始まり、現在では地域の人と場所の魅力を体験するイベントとして、温泉地以外の全国各地で開催され、そのプレーヤーがリノベーションまちづくりの担い手となるなど、リノベーションまちづくりと親和性が高い事業になっています。

(2) 中央地区商店街エリアでのリノベーションまちづくりの更なる推進

ア 地元運営によるスクールの継続開催

リノベ構想の策定委員や過去のスクール受講生の意見を聴きながら、呉市独自のスクールの運営方法を検討し、今年度実施します。今後は、事務局機能も地元で担えるよう準備を進めていきます。

イ 公共空間（公園・道路）の利活用

令和6年9月策定の「呉まちなか公共空間デザイン計画」に基づく取組に、リノベーションまちづくりに携わる地域プレイヤーの参加を促すなど、事業間連携を図っていきます。

(3) 中央地区商店街エリア以外の地域でのリノベーションまちづくりの展開

地元運営によるスクール開催を通して、中央地区商店街エリア以外の地域でのスクール開催に向けたノウハウの共有を図っていきます。